

1. はじめに

心理学の実験は、心理学的な問題意識からはじまり、その問題意識を先行研究により整理します。そして、目的や仮説を立てて、それを検証するための実験を行います。得られたデータを表や図であらわし、統計的に分析をして結果を導き出し、その結果に基づいて、考察をします。

また、実験をした場合はレポートを書きますが、それは「大学の授業の単位を得るため」という表面的な意味を超えて、皆さんの書いたレポートを手にした人が「私もこの実験をやってみよう。ここに書いてある通りに実施すればよいのだな」と分かるように記載する必要があります。そのため、心理学の実験レポートの書き方には決まり（書式）があります。

大学の「心理学基礎実験／心理学実験」の授業は、ワードやエクセルの講習会ではありません。もちろん、授業中に表や図の作り方を多少は教えますし、質問も受け付けます。しかし、そのために多くの時間を割くことはできません。

繰り返しにはなりますが、あくまで「心理学基礎実験／心理学実験」の授業であり、「ワード講座」「エクセル講座」ではありませんので、少なくとも表と図をご自身の力で作ることのできる状態で授業に臨んでください。

因みに、エクセルで表や図を完成させるプロセスはたくさんあります。「この一つのやり方」というものはありません。例え話ですが、「山頂に行く（図を描く）」ことが目的の場合、一步一步登って行けば確実に到達しますし、事前に地図で近道を探しておけば早めに到達しますし、究極的にはヘリコプターで到達しても「ズル」や「悪い」という訳ではありません。「心理学基礎実験／心理学実験」のレポートでは、「図を描く／表を作る」ことが目的であり、その作成方法は幾通りもあります。事前に自分で作成方法を調べ、この資料に記載されている表や図の通りに作成できるようになりましょう。

エクセルやワードをあちらこちら操作すると壊れてしまうのではないかと心配になる方もいるかもしれませんが、エクセルやワードはそう簡単には壊れません。そこで、「ここかな、あそこかな」と様々な方法を試してみてください。

2. 【課題】エクセルで表を作る

表は原則として「タテ線」は書きません。必要最低限の「ヨコ線」のみで作ります。エクセルで表を作った場合は、「選択した部分の色を白」とするとエクセルファイルで表示されている各セルの薄い青線が消えます。表のタイトルは表の上に記載します。表1と表番号で改行して次の行に票のタイトルを記載します。統計をあらわすアルファベットは斜字（フォ

ントメニューの『I』)にします。以下の表を「その通り」に作れるようにしておいてください。(実際の表には、実際の実験で得られた数値が入ります)。

表1 基本統計量と性別ごとの身長の平均値の t 検定

	N	平均値	標準偏差	自由度	t 値	有意確率
男性	10	172.4	6.77	17.34	2.78	0.05
女性	10	164.7	5.56			

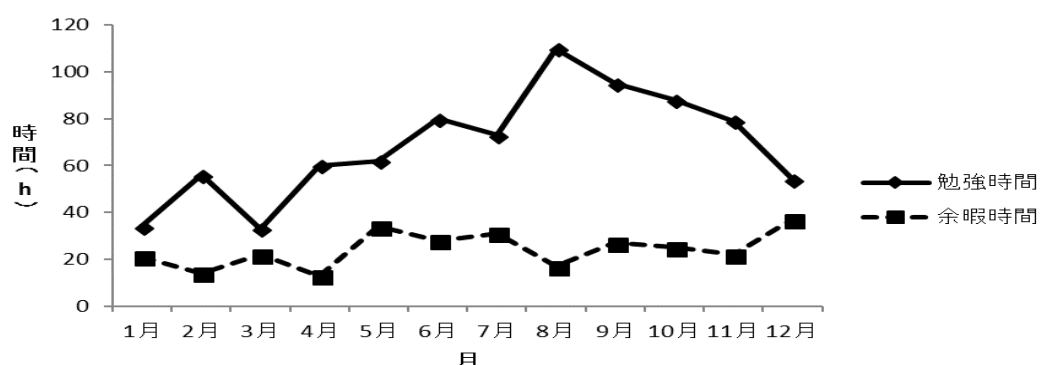
3.【課題】エクセルで図を作る

エクセルで下準備の表を作ります(下記の表)。下記の表はレポートでは使わないので、線がたくさん入っていたり、センタリングしたりしていなくてもかまいません。逆に言うと、この表のままではレポートに記載できないということです。まずはエクセルで、以下の架空の数値で下準備の表を作ってください。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
勉強時間	34	56	33	60	62	80	73	110	95	88	79	54
余暇時間	21	14	22	13	34	28	31	17	27	25	22	37

この表を選択して、「挿入→グラフ→マーカー付き折れ線」とすると、この表をもとにエクセルが自動的に図を作ります。この図のタテ軸とヨコ軸の目盛が外向きになっています。心理学のレポートで使える色は黒と白(かろうじて灰色)のみです。このように細部まで、以下の図の通りに作ることができるようになっていてください。

図1 月別の勉強時間と余暇時間



4.【課題】作成した表や図をワードに貼り付ける

エクセルで作成した表や図をコピーして、ワードに貼り付けます。貼り付け方は授業中に指示します。